



# やっしろ



今年は、よい天気が続き、初日の出もしっかり見ることができました。保護者の皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのことと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

## 《 始業式 校長の話より 》

新年を迎えました。令和4年 西暦2022年。そして、今日3学期がスタートしました。お正月は、楽しく過ごせましたか。八代小学校の子どもたち122名が無事にそろって3学期のスタートができたことを本当によかったと思います。みんなが約束をしっかり守り生活したからだと思います。さすがです。

さて、「1年の計は元旦にあり」と言われます。この言葉は、何事も最初が大切で、1年間を充実させるためには、年の初めに自分でめあてを決めて頑張ることが大事であるという意味です。

1年で体も大きくなります。それと一緒に物事を考えたり、判断したりする力や相手を思いやる優しい心も大きく成長していく必要があります。そのためには「学ぼうとする前向きな姿勢」が大切です。

自分のやっていることがめあてのとおりになっていないことほど苦しいものはありません。

そこで、今日は、「実行に移す決意と習慣」についてお話をしようと思います。

人間は、もともと積極的に行動する生き物です。しかし、実際には、行動力のある人とそうでない人がいます。その違いは何でしょう。それは、「行動に移す習慣が身に付いているかどうか」が、分かれ目です。

まず、第1に自分で「めあてを決める」ことが大切です。「蒔まかない種は生えない」と言われるように、花や野菜に限らず、勉強でもスポーツでも一緒です。めあてを決めるということは、自分を生かすチャンスという種をまくことなのです。

第2にめあてに向かって「やるべきことを決める」ことです。まず最初にやることは、次にすることはいつ、どのようにやるか順番や方法を決めることです。

そして、第3に「実行に移す」「やってみる」という習慣です。

何事も、スタートには力・エネルギーが必要です。動き出すときに一番大きな力が必要になるからです。例えば、走るときも自転車に乗って進むときも動き出すときには大きな力が必要になりますが、走りだすとそれほど力はいりません。だから ゆっくりと確実に前に進むことが大切だと先生は思います。実行に移す習慣を身に付けることで、一人一人の夢や願いが一步步実現に近づくのです。自分の力を信じて努力できる三学期にしてほしいと思います。

3学期は、それぞれの学年のまとめの学期です。まとめというのは、学習や運動など今の学年で身に付けるべきものをすべて自分のものにして次の学年に備えることです。1年生は2年生へ 2年生は3年生へ・・・

特に6年生は小学校を卒業して中学生になる年です。今まで学んだことを活かしながら学年最後のまとめと中学校への準備ができることを期待しています。

3学期の終わりに、やるべきことを終えた満足感と多くの自信をもって1年間を振り返ることができるようにみんな努力しましょう。みなさん一人一人の頑張りと活躍を楽しみにしています。これで校長先生の話が終わります。

## 《 児童発表 》 「三学期の目標」 5学年 田中 奏歌 (たなか かなた)

今日から3学期です。今年の3学期は、去年までの3学期とは違います。それは、最上級生の6年生になるための準備をする大切な学期だからです。そのために、私は何をがんばらないといけないか考えてみました。2学期を振り返ってみると、できていないな、もう少しだなと思うことがいくつかありました。

学習面では、字をきれいに書くことです。高学年になって勉強も難しくなり、書く内容が増えてきました。早く終わらせたい気持ちやめんどくさい気持ちがあって、字を雑に書いてしまうきれいに書かないと、勉強したことが分からなくなるので3学期は丁寧に字を書くことを心がけていきたいです。

2つ目は、助け合いの気持ちをもって行動することです。2学期に宿泊学習がありました。「規律」「協同」「友愛」「奉仕」の四つ心を学びました。

そこで助け合うことの大切さを教えてもらいました。



でも、2学期を振り返ってみると、友達、先生、家族に助けってもらうことは多かったけれど、自分から助けをあげることが少なかったです。グループで学習したり、活動をしたりするときには、みんなで協力して助け合っていきたいと思います。

3学期は、一番短い学期ですが、高学年としての自覚をしっかりとって生活面、学習面両方とも下学年のお手本となるように毎日過ごしていきたいです。

## 《 1月の生活目標 》 「わすれものをなくそう」

担当の福嶋先生より、忘れ物をしてはいけない理由や忘れ物をしない工夫について話をいただきました。

また、短く大切な3学期、学習の決まり等について再度確認をしてもらいました。

### 1 学習準備の仕方

- ・ 授業が終わったら、机の上に次の授業に準備（教科書・ノート・下敷き・筆箱）をしてからトイレに行きたい人は行って、水を飲みたい人は水飲みをします。ただし場合によっては机の上に何も出さないこともあります。
- ・ 着席したら、鉛筆・消しゴム・定規・赤鉛筆（赤ボールペン）を出し、筆箱は机の中になおします。

### 2 授業の始まりのあいさつと終わりのあいさつ

- ・ 日直さんが号令をかけます。
- ・ 「立腰」を必ず言うようにします。その後のあいさつの仕方はクラスの様子に応じて行います。正しい姿勢に座っているかを確認します。
- ・ 児童全員が礼をした後、教師が返礼をしてから授業開始します。

### 3 返事と発表の時の立ち方

- ・ 名前を呼ばれたら、「はい」と返事をします。
- ・ 授業中の発表の時は、返事をして、椅子の右横に立ちます。

### 4 話し方・聞き方

話し方 名人	
あ	相手を見て
う	後ろまで聞こえる声で
お	終わりまで しっかり伝えよう



聞き方 名人	
あ	相手を見て
う	うなずいて
お	終わりまで しっかり聞こう



## 《 配付物 》

- 文部科学省から  
「不安やなやみがあったらなしてみよう」
- 宮崎県教育委員会から  
「新型コロナウイルス感染症の予防について」
- 国富町教育委員会から  
「就学援助制度のお知らせ」

※ 1月7日（金）配付いたしました。ご確認していただきたいと思います。

